



スマホ活用術vol.6 就活必需品のスマートフォンの選び方

どっちがいいの!? 「iPhone」vs「Android」

今や就活時の必需品となったスマートフォン。時間との勝負になる人気企業の説明会へのエントリーや企業の情報をいち早くキャッチするなど、就活生にはなくてはならないツールになっているが、一番迷うのはその機種が多さ。今回は就活時における iPhone と Android の違いを5つのポイントで解説! 自分に合うスマホはどれなのか参考にして欲しい。

今回比較したのはこの2機種

iPhone 4 S

Samsung GALAXY S II



	OS	Android 2.3
Apple A5 1GHz Dualcore	CPU	Qualcomm APQ8060 1.5GHz Dualcore
512MB	メモリ	1GB
16GB/32GB/64GB	ストレージ(容量)	16GB
800万画素 AF あり フラッシュ付き	カメラ	810万画素 AF あり フラッシュ付き
3.5インチ (640×940)	ディスプレイ	4.5インチ (480×800)
115.2(H)×58.6(W)×9.3(D) mm	サイズ	130(H)×69(W)×9.5(D) mm
140 g	重量	130 g

PC サイトは見れるのか?



iPhone

Android

就活生にとって一番重要になるサイト閲覧だが、iPhoneはFlash未対応のため、閲覧できないサイトが出てくる。AndroidはフルFlash対応によりPCと同様に企業サイトを見ることができるため、Androidが優勢。しかし、今は両方に対応するためにFlashを避けてページを作成する企業も多くなっている。

電波や感度、速度は?

iPhone 販売キャリア

Android 販売キャリア

SoftBank

SoftBank

au by KDDI

au by KDDI

NTT docomo

様々なキャリアからでている wifi は iPhone/Android 両方利用できる

UQ WiMAX

PocketWiFi

X クロッシェ

ULTRA WiFi

iPhone

Android

外出が多い就活生にとって、いつでもどこでもネットに繋がることも大切。iPhoneはau、SoftBankから出ており、Androidは全てのキャリアから出ている。回線の差はあまりなくなったため、引き分け。また、今はモバイル型インターネット(wifi)も普及しているため、キャリアにしばられることも無くなった。

テキスト入力については?



iPhone

Android

エントリーフォームなど項目を素早く入力するのも、就活生にとっては必須スキル。Androidには「ATOK」や「simeji」といった入力補助アプリがあり、日本語入力を手軽に素早く入力できる。一方、iPhoneは現行のバージョンで変換がスムーズにはなっていないが、入力補助アプリは無いためAndroidが優勢。

就活に便利なアプリはあるか?



iPhone

Android

便利なアプリで最新情報をキャッチしたり、スケジュール管理ができるのがスマートフォンの大きな強み。Android、iPhone共に、就活に活用できるアプリが多数リリースされているが、今現在はアプリの数の多さや他アプリとの連携機能などはiPhoneの方が充実している。

操作は簡単かどうか?



iPhone

Android

Androidアプリは制作者が自由な場所にボタンや入力項目を設置できるのに対し、iPhoneアプリにはルールが決まられており、どのアプリでも同じような操作で直感的に操作することができる。初心者はもちろん、様々なアプリや情報を調べるときも、同じ動作でストレス無くできるためiPhoneの方がやりやすい。

比較まとめ	サイト閲覧	電波・速度	テキスト	アプリ	簡単さ
iPhone	○	○	△	◎	◎
Android	◎	○	○	○	△

サイト閲覧と入力速度を重視するなら Android。簡単操作と豊富なアプリを使いたいなら iPhone を選ぶと良い。もしスマホ初心者ならば iPhone から始めるのをすすめる。なぜなら操作が統一されていて、何をどう見たらいいのか、どこを押したらいいのかルール決めがされているため、直感的に操作できるからだ。iPhoneもAndroidもそれぞれ一長一短があるのでまずは店舗で実際に触ってほしい。就活の大きな力となるので是非、この機会に自分に合ったスマートフォンを見つけてほしい。